

仏教とお寺をやさしく解説

さんが

Saiganji Sainomiyako Memorial Park News

2019年1月
第35号
(年4回発行)

新年号

発行部数3千部



「一〇年を振り返り」／ 丹羽義昭住職インタビュー
シリーズ浄土宗／お念仏「南無阿弥陀仏」の意味
実践教室／お仏壇に初詣

・七福神めぐりウォーキング (新年開運七草粥の会) ご案内
・厄払い節分会法要のご案内

「さんが」は創刊一〇周年となりました

平成二〇年十二月に創刊した「さんが」も今号で十年経ちました。十年を振り返り、また新しい年を迎えるにあたり丹羽ご住職にお話を伺いました。



問 今号で「さんが」創刊から十年が経ちましたね。まだまだ記憶に新しいと思っていた事も随分前の事だったりして、時の経つ早さにびっくりしています。

住職 そうですね。年を重ねる毎に一年が早く過ぎてしまふように感じますよね。私は、幼稚園の仕事もしていますので、早くから次の年の事を決めなくてはいけないので余計にそう感じてしまうかもしれません。

問 「さんが」で十年を振り返ると、西願寺も様々なことが変化してきましたね。創刊号では、前住職がインタビューに答えてくださったっていました。2号ではまだ副住職であったご住職に登場して頂いたのもよく覚えていきます。

住職 はい。これからお寺でやっていきたい事として、お月見コンサートや七草粥の会などを開催して、誰でもが参加できお寺を集える場所にしたいと話していたと思います。

問 そこからどちらの行事も、また、節分会も続けていらつしゃって。お月見コンサートはチャリティーコンサートとして毎年、いろいろな方の出演があつて普段間近で聴く機会の少ない音楽に触れることができて参加の皆さんも喜ばれているのではないですか？ 先日、東儀秀樹さんの出演にも驚かされました。

住職 はい。有難いことです。今回で九回目となったチャリティーコンサートですが、初年度（H22）はチャリティーとは謳っていませんでした。翌年に、東日本大震



落慶法要/第三十三世念譽義昭晋山式 平成22年

災があり、そこから被災地に少しでも寄り添うことが出来れば……ということ。二回目以降チャリティーコンサートにすることにしたんです。現在は、コンサート参加費は東日本に限らず各地で起こる災害に対して宗を通じて義援金として皆様のお心と共に被災地に届けさせて頂いています。東儀先生の出演も、お月見コンサートの開催の趣旨がチャリティーだということで出演していただくことが可能になりました。

問 4号の「さんが」では、西願寺の落慶式とご住職の晋山式をとりあげました。新しくなった本堂を前に稚児行列のおねりが印象的でした。10号では、本堂改築と共に行われた本尊仏具の大修復によって、本尊造立の年号が発見され三〇〇年前に造られたものだったというお話を伺いました。

住職 そうでした。私が住職を継職してから、平成27年には、西願寺も開山四〇〇年を迎えたり、一般の方が参加できる行事の開催のほか、古くからしていた施餓鬼会の日取りを変えたり合同法要の日を設けたりと西願寺のこの十年間は本当に目まぐるしく変わっていったと思います。新しく始めた行事も定着してきましたし、今後はこれを長く守っていくことが大切だと思います。

問 なるほど。蒔いた種が育ったというところでしょうか？ ところで、新年は天皇陛下下の譲位もあり年号も変わりますし世情も忙しく変化しそうですね。ばたばたと日々が過ぎ、また次の年末にも「今年も、あつと言う間的一年だった」となりそうですね。

お月見コンサート



住職 そうかもしれませんね。しかし、時の積み重ねであるということころは変わりません。流されず毎日を大切に過ごしたいですね。新年も無事一年が送れますように願っています。

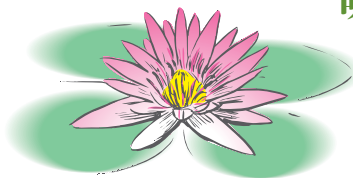
問 気付けば、一年が経ち二年三年と過ぎて行ってしまうましたが、この節目に振り返り気持ちを新たにまた新しいスタートを切りたいと思います。本日はありがとうございました。

お念仏

「南無阿弥陀仏」の意味

「念仏をとなえさえすれば、人間は等しく極楽に往生できる」というのが浄土宗の宗祖法然上人の教えです。

浄土宗では、念仏をとなえることが教えを理解し、その心を知る基本となっており、毎日のおつとめでも、法要のときなどでも、念仏は重要な役割を果たします。



阿弥陀如来

感謝のお念仏

阿弥陀とは、古代インドのサンスクリット語（梵語）の「アミターユス」（限りない命）、「アミターバ」（計り知れない光明）という言葉をもとに漢語に音写したものです。阿弥陀は仏の慈悲と智慧が限りなく人々にそそがれることを表しているのです。お念仏の「南無阿弥陀仏」とは直訳すると、「阿弥陀仏に帰依（信順、任せる）します」という意味になります。私を迷い（六道輪廻の苦しみ）から悟りの世界へ至らしめる仏（阿弥陀仏）に感謝申し上げる言葉ということになります。

お念仏の声

「ナムアマダブツ」のお念仏こそ浄土宗の教えそのものと言っているほどの要といえますが、現在は、法事、法要、葬儀などの仏事において僧侶だけが唱えている印象を受けます。法要などに参列した場合、導師が「同唱十念」といわれたら声を出して唱えるようにしましょう。

◆十念（念仏を十回唱えること）：「なむあみだぶ、なむあみだぶ…」と四回唱え一息いれてまた四回、九回目は「なむあみだぶつ」と発音し、最後（十回目）にゆっくりと「なむあみだぶつ」と唱える。

◆念仏一会：念仏の回数を数えずに、自分の心ゆくまでひたすら何回でも「なむあみだぶつ」と唱え続け、最後にゆっくりと念仏を唱えて終わる。

初詣

お正月と言えば、毎年初詣の参拝客で賑わう神社仏閣の様子がテレビ番組などで伝えられますね。また、新年の挨拶にとお墓参りに出かけるご家庭もあるのではないのでしょうか？



我が家のお仏壇に初詣

新しい年を迎えたら、どこへ出かけるよりもまず一番に我が家の仏壇に初詣をしましょう。

大掃除を終え清々しく整えられたお仏壇を前に家族揃って手を合わせて過ぎた一年を反省し新年の誓をたてたいですね。

仏壇の大掃除

いつも掃除をしているお仏壇でも、目の届かないところもあるのではないのでしょうか。年末は、特に念入りに仏壇も大掃除しましょう。

仏壇の掃除は、毛ばたきでホコリを払ったり、汚れをやわらかい布などで拭き取ります。お線香やロウソクの煙などによる落ちにくい汚れは、ぬるま湯などにひたしたやわらかい布を硬く絞り拭きますが、その場合は、水気を残さないようにしっかりと乾拭きをします。

隅や内障子のほこり、彫刻の間隔は、毛ばたきや筆などを使い払い落とします。金箔部分は、手の油分や汗を嫌い、また傷つきやすいので直接手で触れず、布で拭くこともしないでください。指紋など油性の汚れがついてしまった場合はシリコンクロスや綿布などやわらかい布で軽く拭き取るようにします。

仏具の手入れ

塗りの仏具はシリコンクロスや綿布などやわらかい布で乾拭きします。真鍮の仏具も布巾で拭き取ります。真鍮磨きや専用の洗浄剤を使えば光沢がなくなつたものも輝きを取り戻せます。

燭台にロウソクのロウがたまつたとき



は、ロウ除去液を使って取ります。香炉は、線香の燃えカスなど灰ふるいを使って手入れします。ふるいにかけたあとの灰の表面は灰ならしできれいにします。

暮らしの中の

仏教語

「縁起」【えんぎ】

「一富士（いちふじ）二鷹（にたか）、三茄子（さんなすび）」。初夢に出てくると縁起が良いと言われていますよね。縁起を担ぐ、縁起がいい（悪い）日、縁起物など物事の吉凶を表すことばとして日本では古くからこの「縁起」という言葉が使われてきましたが、縁起はサンスクリット語「pratiya-samupada」を漢訳した仏教語で、仏教の基本思想を表す言葉なのです。「因縁生起」の略で、意味はすべての存在は無数の因と縁（直接の原因とそれを結ぶ縁）によって起こることを示すのだそうです。



厄払い節分会法要 (豆まき)のご案内

日時 平成31年2月3日(日)

10:00 受付

10:30 節分会法要

11:30 豆まき



平成31年度に前厄、
本厄、後厄にあたる善男善女の方は
是非お申込みで参加ください。

冥加料 10,000円(祈祷料、会食代)

※尚、豆まきのみのご参加は、浄財
としてお賽銭(灯明料)をお願い
いたします。

遊馬・柳島 七福神めぐりウォーキング (新年開運七草粥の会)のご案内

新年開運七草粥の会は、今年も下記の内容で開催致します。7カ所の神社寺院をめぐり御朱印をいただきゴールの西願寺では開運七草粥が振る舞われ、記念品が手渡されます。お気軽にご参加ください。



日時 平成31年1月7日(月)

10:00から12:00の

時間内で巡って
いただきます

参加費 100円

(※保険料として)

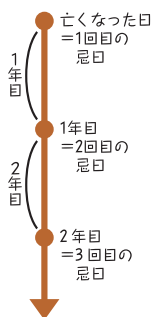


申込・
お問合せ

西願寺 TEL. 048-925-1723 FAX. 048-925-1789

西願寺 平成30年度十三夜お月見チャリティーコンサート開催報告

さる10月19日、恒例となった西願寺お月見チャリティーコンサートが開催されました。この日のゲストは、雅楽師の東儀秀樹さん。楽しいお話しと美しい音色の音楽が心と耳に残る一夜となりました。当日は、小雨が降り雲に隠れていた月も、東儀さんの奏でる箏の「荒城の月」の演奏に、顔を出すという嬉しいサプライズもあり参加の方々の笑顔あふれる会となりました。



年回法要の数え方で亡くな
られて一年後の命日を一周
忌と呼ぶのは丸一年をまわったと
いうことを意味しているからです。
そして二年目の命日を、二周忌と
は言わず三回忌と呼ぶのは、亡く
なった日が一回目の忌日とし、丸
一年目が二回目の忌日、丸二年目
が三回目の忌日であることから二
年目の命日を三回忌と呼ぶのです。
年回法要は、三回忌以降、七回忌、
十三回忌、十七回忌...と続きます
が、いずれも亡くなった人をご縁
としてその場に参集した家族、縁
者の一人ひとりが仏法に触れ自分
のことで聞き入れることができ
る機会なのです。

なぜ一
の次に三
なのでしょう？

昨年
は祖父
の一周
忌でした。
今年
は三回
忌法要で
すが、

Q & A

掲 示 板

彩の都メモリアルパーク管理事務所 年末年始休業のお知らせ

◆年末年始休業日◆

平成30年12月29日(土)～

平成31年1月4日(金)

年末年始の休業期間は管理事務所における事務手続き、電話問い合わせなどの業務はおこなえません。
尚 墓所へのお参りは通常通り開門しておりますのでご自由にいらしてください。

彩の都メモリアルパーク管理事務所
TEL.048-921-4194 FAX.048-921-4195

◆平成31年度管理費について◆

平成31年10月より施行される消費税率の引き上げに伴い、彩の都メモリアルパーク管理費について変更となる予定です。詳細につきましては追ってお知らせ致します。

■お便り募集■

編集部では皆さまからのお便りを募集しております。仏事の疑問や悩みごと、身近なできごとや日頃感じていること、川柳など、どうぞお気軽にお寄せください。

◆イオ株式会社

西願寺・彩の都メモリアルパーク通信「さんが」編集部
東京都千代田区飯田橋四・七・十一 カクタス飯田橋ビル7F
FAX 03 (32295) 1302 Mail: info@io-conet

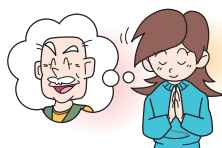
■次号予告

次号は平成三十一年二月発行予定の「春のお彼岸号」です。

平成31年 年回表

年ごとの命日を祥月命日といい、年回にあたった年の、この日に行う法要が年回(年忌)法要です。この法要では亡くなった方とご縁のある方が集まり、故人を偲びながらお勤めします。

1周忌	平成30年逝去	37回忌	昭和58年逝去
3回忌	平成29年逝去	50回忌	昭和45年逝去
7回忌	平成25年逝去	100回忌	大正9年逝去
13回忌	平成19年逝去		
17回忌	平成15年逝去		
23回忌	平成9年逝去		
27回忌	平成5年逝去		
33回忌	昭和62年逝去		



西願寺 平成31年 年間行事案内

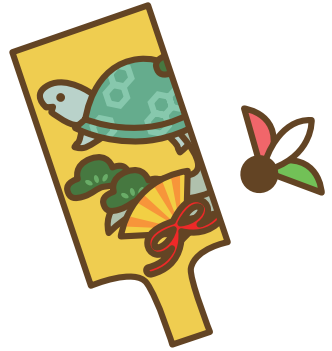
- ※1月 1日(火) 修正会(新年をむかえての法要＝おつとめ)
- ◎1月 7日(月) 七福神めぐりウォーキング(新年開運七草粥の会)
- ※1月25日(金) 法然上人御忌
- ◎2月 3日(日) 厄払い節分会法要
- ※2月15日(金) 涅槃会(お釈迦さまの命日)
- ◎3月18日(月) 春の彼岸会
- ※4月 8日(月) 灌仏会(花まつり)
- ◎5月25日(土) 大施餓鬼会
- ◎7月13日(土) お盆会
- ◎8月 4日(日) 合同新盆供養
- ◎8月13日(火) 旧盆会
- ◎9月20日(金) 秋の彼岸会
- ◎10月11日(金) 第10回十三夜お月見コンサート
- ※11月23日(土) 十夜会(念仏をとなえて善根をつむ法要＝おつとめ)
- ※12月 8日(日) 成道会(お釈迦さまのお悟りの日)
- ※12月25日(水) 仏名会(念仏をとなえて一年を反省する法要＝おつとめ)



毎月25日は念仏会を開いております

◎印は予定をたてて是非ご参詣ください。

※印は現在、寺だけで自主的に行っている法要＝おつとめです。



◆編集後記◆

新年は、亥年ですね。十二支は、子年から始まり亥年で終わります。一つのサイクルの終わりの年でもあるこの年は、エネルギーを蓄えて次の世代へと向かう準備をするという意味もあるそうです。時代も平成から次の時代へと移り変わり私たちのまわりもいろいろな変化があるのかもしれないね。何だか楽しみです。そういえば、猪は猪突猛進な性質から、勇気と冒険の象徴ともされているのだとか。新しいことにチャレンジするのもいいかもしれません。

さて、仏教とお寺を「もつと身近に」そして「解りやすく」をテーマに創刊した「さんか」も創刊から10年が経ちました。「宗教というどこか身構えてしまう」「お寺」というと敷居が高い「そんなイメージを少しは変えることが出来たでしょうか？ これからも皆さまの疑問に答える紙面づくりに努力したいと思います。新しい年もどうぞよろしくお願い致します。

発行者／

遊馬山一行院 西願寺

〒三三〇〇〇〇三三 埼玉県草加市遊馬町四三〇番地

電話 〇四八一九二五一一七三

FAX 〇四八一九二五一一七八九

彩の都メモリアルパーク

〒三三〇〇〇〇三三 埼玉県草加市遊馬町二二六〇一九

電話 〇四八一九二二一四一九四

FAX 〇四八一九二二一四一九五

企画・編集・製作／

西願寺 丹羽義昭住職

イオ株式会社 西願寺・彩の都メモリアルパーク通信

「さんか」編集部